

令和 3年 1月 日

習志野市教育委員会 様

習志野市社会教育委員会議
委員長 澤田 弘

習志野市文化振興計画（案）について(答申)(案)

令和2年7月29日付け教社232号で諮問のありましたこのことについて、下記のとおり答申します。

記

習志野市文化振興計画（案）について、本会議にて審議を重ねた結果、その内容は概ね妥当なものであると判断する。

なお、文化振興の推進にあたっては、以下の点に十分留意していただきたい。

1. 伝統文化や地域に根差した文化を次世代に伝え、継承できるよう、事業の実施にあたっては、特に子ども達が文化を身近に感じ、取り組みやすくなるような工夫に努めていただきたい。
2. 文化活動には「見る」、「聴く」だけでなく、「つくる」ことも大切である。市民自らが新しい文化を創り出す環境について、研究していただきたい。
3. 市が保有する文化財を様々な分野に活用した取り組みを行っていただきたい。
4. 情報通信技術 (ICT) を活用し、広く、市民が親しみやすくわかりやすい、文化の情報発信に努めていただきたい。
5. コロナ禍において、様々な文化活動が縮小や中止を余儀なくされている。本市の文化活動が後退しないよう、その時々状況を十分踏まえ、各種事業の実施について、柔軟に対応していただきたい。